

演劇

漫才

コント

歌唱

ダンス



全国高校生 第1回

手話パフォーマンス甲子園

2014年 11月23日 日・祝

開催時間

10:30~17:00

会場 / 鳥取県立生涯学習センター (県民ふれあい会館)

Supported by
 日本財団
 THE NIPPON FOUNDATION

報告書

手話パフォーマンス甲子園実行委員会

開催概要

| | |
|--------|---|
| 目的 | ろう者と聞こえる人が互いを理解し共生することができる社会を築くため全国初の「手話言語条例」を制定した鳥取県において「手話パフォーマンス甲子園」を開催し、全国の高校生が手話を使って様々なパフォーマンスを繰り広げる場をつくり発信することにより、多くの人に手話を身近なものとして理解してもらうとともに、手話とパフォーマンスを通じた交流の推進及び地域の活性化に寄与することを目的とする。 |
| 日時 | 平成26年11月23日(日) 10時30分～17時 |
| 会場 | 鳥取県立生涯学習センター 県民ふれあい会館 |
| 来場者 | 約750人(サテライト会場を含む) |
| 主催 | 手話パフォーマンス甲子園実行委員会 |
| 共催 | 鳥取県、公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 |
| 特別協賛 | 日本財団 |
| 特別協力 | 一般財団法人全日本ろうあ連盟 |
| 出場チーム | 20チーム 5月13日から9月30日まで参加チームを募集したところ、全国から41校41チームの申し込みがあった。10月18日に審査員4名のビデオ視聴による予選審査を行い、15チームを選定した。また特別出場枠として、手話の普及に関する条例を制定するなど手話の普及に積極的な自治体から5チームを招待した。 |
| 皇室の御臨席 | 秋篠宮妃殿下並びに佳子内親王殿下に御臨席いただいた。 |



本大会には秋篠宮妃殿下並びに佳子内親王殿下に御臨席いただきました。

大会スケジュール

| | | |
|--------------|--|--|
| <p>10:30</p> | <p>開会式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主催者あいさつ ・来賓あいさつ ・おことば ・出場チーム紹介 ・選手宣誓 <p>審査員紹介・審査基準説明</p> |  |
| <p>10:54</p> | <p>出場チーム演技(1~7)</p> | |
| <p>12:06</p> | <p>昼休憩</p> | |
| <p>13:02</p> | <p>出場チーム演技(8~14)・休憩</p> | |
| <p>14:32</p> | <p>出場チーム演技(15~20)・休憩</p> | |
| <p>15:57</p> | <p>ゲストパフォーマー演技</p> | |
| <p>16:27</p> | <p>表彰式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審査員特別賞 ・第3位 ・準優勝 ・優勝 (全日本ろうあ連盟賞) ・審査員長講評 |  |
| <p>17:00</p> | <p>閉会</p> | |

主催者あいさつ

鳥取県知事
平井 伸治



皆様、おはようございます。本日、秋篠宮妃殿下、佳子様をお迎えいたしまして、ここに手話パフォーマンス甲子園を開催できますことは、私ども鳥取県民にとりまして、誠に喜ばしいことでございます。これまで大変にお世話をいただきました石野理事長、佐藤様、さらには荻原理事長をはじめとしまして、数多くの皆様から御支援をいただきました。また、全国各地から御応募をいただきました各校に対しまして、心からの感謝を申し上げたいと思います。

まず昨日、夜になりまして地震がありました。被害を受けられました長野の皆様方に御見舞いを申し上げたいと思います。また、今日参加されます各校の皆様には、是非とも優勝を目指して頑張ってくださいたいと思います。

聞こえない作曲家のベートーベンがいました。彼はこういう風に言っています。「希望よ、お前は心を鉄に鍛えてくれる」。今日集まった皆様は、同じ志を持つ皆様でいらっしやいます。手話を通じてコミュニケーションができる喜びを知っている。手話を使いながら共に生きていく幸せを知っている。そういう高校生の皆様です。私たちはみんな仲間なのです。皆様と一緒に、是非とも日本を変えていきたいと思っているところでござ

います。

皆様がお見えになられましたこの鳥取は、よく全国の方々から言われます。

「スタバがないじゃないか」と。でもここには「スナバ」（鳥取砂丘）があります。さらに「因幡の白ウサギ」がいるのです。大国主命、八上姫、このお二人を結びつける役割を演じたのが白ウサギなのです。そういう物語です。今日、「因幡のスナバの白ウサギ」が、皆様を結びつけました。皆様と一緒に手話革命を起こしたいと思います。

鳥取では去年の10月8日、手話言語条例を制定しました。それから1年経ちましたがその間鳥取では、企業であるいは学校でまた地域で、手話を勉強する運動が広まっています。タブレット端末で手話通訳を始めました。こういう新しい運動をもっともっと広めていきたいと思えます。今日、高校生の皆様が大きな舞台に立ちパフォーマンスを演じることで、日本が変わります。手話を使いながら共に生きる社会を築いてください。日本が変わる、その新しい歴史が始まります。

結びに当たり、秋篠宮家紀子様、佳様様のいやさかをお祈り申し上げますとともに、お集まりの皆様のお健勝、参加各校の御健闘をお祈り申し上げます。本日は、誠にありがとうございました。

来賓あいさつ

全日本ろうあ連盟理事長 **石野 富志三郎**



皆さん、おはようございます。本日、秋篠宮妃殿下、佳子内親王殿下の御臨席の下に、全国高校生手話パフォーマンス甲子園が盛大に開催されますことに心よりお祝い申し上げます。

以前、同じ高等学校でありながら、聾学校の野球部は一般高校との地方大会に堂々と優勝しながらも、全国予選出場権が認められていませんでした。また、聞こえない高校生が大学に入るためには、「聞こえなくても特別な支援は求めません」といった誓約書を書かなければ入学試験すら受けられない時代もありました。同じ高校生でありながら、聞こえないということで様々な機会が奪われていたのです。

申すまでもなく、この大会では、手話が当たり前のように使われています。聞こえる人も聞こえない人も同じコミュニケーション手段を用いることで、聾学校の生徒も平等、対等に同じ舞台上で競うことになっています。鳥取県の手話言語条例で目指す「手話」を通し、「ろう者と聞こえる人が互いを理解し共生することができる社会」であり、私たちが願い続けてきたものがこの大会に現れていると思います。

今日、全国から集まった20校の皆さん、それぞれが練習の成果をいかに発揮し、私たちに手話で皆さんの思いを伝えてください。出場者の皆さんの健闘を祈り、私の挨拶といたします。



おことば

秋篠宮妃殿下



本日、全国高校生手話パフォーマンス甲子園が初めて開催され、皆さまにお会いできましたことを大変うれしく思います。

ここ鳥取県では、全国に先駆けて手話言語条例が制定され、積極的に手話の普及に取り組まれています。この大会の開催にあたり、ご尽力くださいました方々に、深く感謝いたします。

皆さまは、手話とどのように出会われましたか。家族やお友達、または学校やサークル、あるいは、本、テレビ、映画を通して、様々だと思います。

私は、高校生の時に手話の本を手にし、大学生の時に、手話を学びはじめました。その一つのきっかけは、大学祭でおこなわれた手話劇「夕鶴」を鑑賞したことで

した。そこで、手話の豊かな表現にふれ、手話に関心を抱きました。そして、色々な手話を覚え、聴覚障がい者の暮らしや文化を知り、多くの人に出会いました。このように、手話を使いながらお互いの気持ちや考えを伝え合うことができますことは、大変幸せに思います。

この後、全国から選ばれた二十のチームが、手話の歌、バンド演奏、ダンス、劇、朗読などをして下さることを楽しみにしております。皆さまが、今までの練習の成果を十分に発揮される舞台となりますことを希望しております。

この大会を通して、大切なコミュニケーション手段の一つである手話に対する理解が一層深まることを願い、開会式に寄せる言葉といたします。

選手宣誓

倉吉北高等学校3年
秋草 柚南



宣誓

今、全国高校生第1回手話パフォーマンス甲子園のこの舞台に立てることに誇りを感じています。

昨年、鳥取県では全国初の手話言語条例が制定されました。私は、手話が話すことと同じように、感情や意志を豊かに伝えられる言語であることを学びました。

多くの方々に手話を身近なものとして理解していただき、少しでも親しみを持ってもらいたいです。

この大会がその一歩となるよう、精一杯パフォーマンスし、記憶に残る手話パフォーマンス甲子園にすることを誓います。





出場チーム 20チーム(応募数 41チーム)

| 都道府県 | チーム | 内容 | 備考 |
|------|------------------------|----------|------|
| 北海道 | 石狩翔陽高等学校 | 手話歌・ダンス | 特別枠 |
| 北海道 | 新得高等学校 | 手話歌 | 特別枠 |
| 東京都 | 大泉桜高等学校 | 手話劇・歌 | |
| 東京都 | クラーク記念国際高等学校東京キャンパス | 手話ダンス | |
| 石川県 | 田鶴浜高等学校 | | 特別枠 |
| 愛知県 | 名古屋聾学校 | 演奏+手話歌 | |
| 三重県 | 三重高等学校、相可高等学校、松阪工業高等学校 | 手話歌・ダンス | 特別枠 |
| 滋賀県 | 八幡高等学校 | 手話歌 | |
| 大阪府 | 松原高等学校 | 手話歌 | |
| 奈良県 | 奈良県立ろう学校 | 手話劇 | |
| 鳥取県 | 鳥取聾学校 | 手話劇・歌 | |
| 鳥取県 | 境港総合技術高等学校 | 手話スピーチ・歌 | |
| 鳥取県 | 倉吉北高等学校 | 手話歌 | 選手宣誓 |
| 高知県 | 嶺北高等学校 | 手話歌 | |
| 福岡県 | 三井高等学校 | 手話歌 | |
| 福岡県 | 小倉南高等学校 | 手話朗読 | |
| 佐賀県 | 嬉野高等学校 | 手話歌 | 特別枠 |
| 沖縄県 | 真和志高等学校 | 手話歌 | |
| 沖縄県 | 沖縄水産高等学校 | 手話歌 | |
| 沖縄県 | 陽明高等学校 | 手話歌 | |

【参考:その他の予選参加校】

大川学園高校(埼玉県)、浦和実業学園高校(埼玉県)、足立東高校(東京都)、頌栄女子学院高校(東京都)、潤徳女子高校(東京都)、豊南高校(東京都)、川崎高校(神奈川県)、啓新高校(福井県)、身延山高校(山梨県)、京都府立聾学校(京都府)、鳥取湖陵高校(鳥取県)、岩美高校(鳥取県)、鳥取城北高校(鳥取県)、倉敷中央高校(岡山県)、鳴門高校(徳島県)、徳島視覚支援学校・徳島聴覚支援学校(徳島県)、大和青藍高校(福岡県)、大分東明高校(大分県)

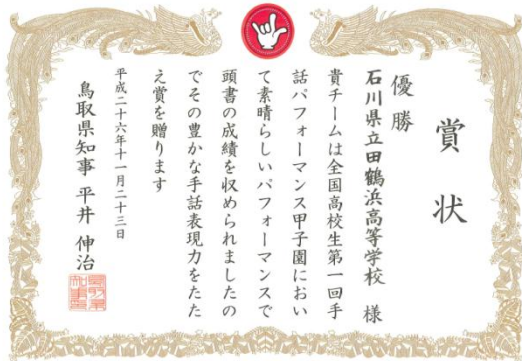
受賞チーム

| 賞 | 発表順 | チーム(都道府県) | 最終得点 |
|--------|-----|---|------|
| 優勝 | 20 |  <p>田鶴浜高等学校(石川県)</p> | 290 |
| 準優勝 | 10 |  <p>鳥取聾学校(鳥取県)</p> | 283 |
| 第3位 | 16 |  <p>三重高等学校、相可高等学校、 松阪工業高等学校</p> | 280 |
| 審査員特別賞 | 14 |  <p>奈良県立ろう学校</p> | |

表彰

賞状

優勝、準優勝、第3位、審査員特別賞
 優勝チームには全日本ろうあ連盟賞も授与



優勝旗



メダル(素材は鳥取砂丘の砂)

優勝、準優勝、第3位のチーム全員に授与



参加賞(砂で作ったキーホルダー)

メダル授与者を除く全員に授与



副賞



優勝チームの全員に授与



5万円相当



3万円相当



2万円相当

司会者



早瀬憲太郎さん

ろう者として、学習塾「早瀬道場」を設立し、塾長としてろう児の国語指導等を行っている。映画「ゆずり葉」の脚本・監督。NHK「みんなの手話」講師として出演中。



今井絵理子さん

1996年SPEEDとしてデビュー。2008年には日本テレビの「24時間テレビ」に出演し、聴覚障がいのある息子と前向きに生きる姿を公表。現在はソロアーティストとしても活躍中。

総合司会 NHK鳥取放送局アナウンサー **大木浩司さん**

審査員

- **庄崎隆志さん**(審査員長)
 演出家・俳優
- **貴田みどりさん**
 女優・ダンサー
- **石野富志三郎さん**
 全日本ろうあ連盟理事長
- **TATSU(タツ)さん**
 HANDSIGN(ハンドサイン)リーダー
- **西岡恵子さん**
 ソプラノ歌手
- **中永廣樹さん**
 鳥取県文化振興財団理事長



庄崎隆志さん



TATSUさん



貴田みどりさん

ゲストパフォーマー

The National Theatre of the Deaf(NTD) (アメリカ・デフ・シアター)

ろう者の劇団として世界的に有名なアメリカ・デフ・シアターは1967(昭和42)年に創設されて以来、45年以上にわたって世界各地で上演を行っている。日本でも1979(昭和54)年に初公演を行っており、視覚的な手話言語の豊かさあふれる表現力と、黒柳徹子さんの特別出演で、大きな話題となった。また、この来日公演をきっかけに国内でもろう者の舞台芸術の創造が盛んになり、プロやアマのろう者劇団が多く誕生している。

アメリカ・デフ・シアターの舞台は、きこえない俳優がアメリカ手話(ASL)を使い、きこえる俳優が英語の音声を使う形で、2つの言語が同時に進行する。手話パフォーマンス甲子園の舞台もこの形で上演され、舞台横のスクリーンに映す日本語字幕で皆さまに楽しんでいただいた。

アメリカ・デフ・シアターの活動は米国や世界各国の社会において、手話に対する理解、手話の普及、ろう者福祉の啓発などを大きく促進する力となっており、そして世界のろう者に、ろう者として誇りを持って生きることの大切さをアピールしている。

筑波技術大学准教授 大杉豊(大会実行委員)



会場運営

サテライト会場

ホールに入りきれなかった来場者のために、会場5階にサテライト会場を設け、ステージの様子を中継した。延べ約350人が観覧した。

物販

障がい福祉事業所等が、軽食やオリジナル記念品を販売した。



スポーツタオル



ミニタオル

手話カフェ

会場のレストランを、手話で注文のできるカフェとして、1日限定でオープンした。



鳥取聾学校写真部写真展



広報・誘致

広告等

- ・NHK「みんなの手話」7月号テキストに募集広告(表紙裏1面)
- ・全日本高校大学ダンスフェスティバルのプログラムに募集広告(8月)
- ・全国聾学校長会(6月)ほか各種大会等でチラシ配布
- ・日本海新聞テレビ欄に観覧者募集広告(10/1)
- ・日本海テレビで開催告知CM放映(11/13~22 15秒 18本)



【手話パフォーマンス甲子園】告知CM

「みんなの手話」7月号

新聞広告

テレビCM

ダイレクトメール

- ・全国の高校へ募集チラシ配布(朝日新聞厚生文化事業団の協力により)
- ・全国高校生の手話によるスピーチコンテスト出場経験校、手話部(同好会)、福祉科、落語研修会のある高校へ開催要項配布

チラシ等



第1号チラシ



第2号チラシ



ポスター



のぼり



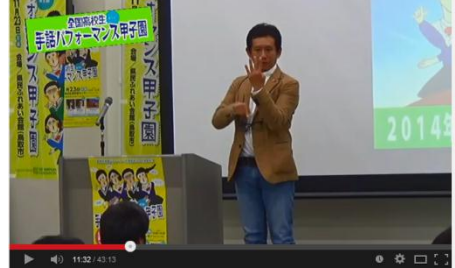
横断幕(県庁議会棟)

広報・誘致

YouTube



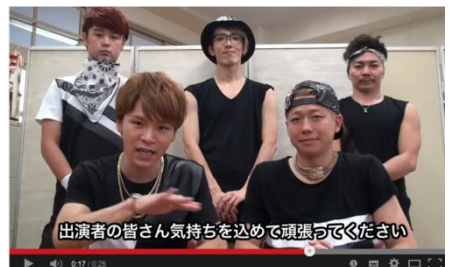
大会プロモーションビデオ8/28



予選審査結果発表10/18



貴田みどりさん応援メッセージ9/30



HANDSIGN TATSUさん応援メッセージ9/30



今井絵理子さん応援メッセージ11/13



早瀬憲太郎さん応援メッセージ11/18

ホームページ、
 SNS
 公式サイトを開設
 Facebook、twitter、
 LINEを活用し、大会
 情報など随時配信

LINEの画面



街頭ディスプレイ
 (7/11~11/23)
 JR主要駅、空港に設置し
 大会をPR【県実施】

鳥取駅



交流会

| | |
|--------|--|
| 日時 | 平成26年11月22日(土) 18時～20時 |
| 会場 | ダイキンアレス青谷(鳥取市青谷町) |
| 出席者 | <p>約260名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手話パフォーマンス甲子園出演者(出場チーム、審査員、司会者等) ・鳥取県手話言語条例1周年記念シンポジウム参加者 (北海道石狩市・北海道新得町、三重県松阪市、佐賀県嬉野市) ・来賓(全日本ろうあ連盟、日本財団、鳥取県議会議員等) ・主催・共催者(鳥取県、実行委員、鳥取県聴覚障害者協会) |
| 主催 | 鳥取県、手話パフォーマンス甲子園実行委員会 |
| 形式 | 立食ビュッフェ方式 |
| 次第 | <ul style="list-style-type: none"> ・主催者あいさつ ・乾杯 ・出場チーム抱負 ・アトラクション(鳥取聾学校生徒によるソーラン節) ・司会者からのエール(早瀬憲太郎さん、今井絵理子さん) ・審査員からのエール(庄崎隆志さん) ・閉会あいさつ |
| 皇室の御臨席 | 秋篠宮妃殿下並びに佳子内親王殿下に御臨席いただいた。 |



交流会に御臨席になる秋篠宮妃殿下並びに佳子内親王殿下。



交流会でエールを送る今井絵理子さんと、熱心に見つめる参加者たち。

手話パフォーマンス甲子園実行委員会

- 委員長 松田 佐恵子 (鳥取県福祉保健部長)
- 委員 大杉 豊 (国立大学法人筑波技術大学 准教授)
- 廣田 喜春 (全日本ろうあ連盟青年部長)
- 諸家 紀子 (鳥取県聴覚障害者協会福祉・労働委員会委員長)
- 森原 早百合 (鳥取県手話通訳士協会)
- 国広 生久代 (全国手話通訳問題研究会鳥取支部)
- 田中 優子 (鳥取県手話サークル連絡協議会)
- 小林 裕幸 (鳥取県社会福祉協議会専務理事)
- 小椋 博幸 (鳥取県教育委員会教育次長)
- 松本 清治 (鳥取県高等学校長協会長)
- 門脇 由己 (鳥取県私立中学高等学校長会長)
- 藤田 則恵 (鳥取県立鳥取聾学校長)
- 監事 前田 潤子 (鳥取県立鳥取聾学校事務長)
- 田中 順一 (鳥取県会計管理者会計局会計指導課長)



優勝した田鶴浜高等学校チーム
 (石川県)



報告書

手話パフォーマンス甲子園実行委員会